

教師の児童理解を深め、支援力につなげる コーディネーターの役割

ー コーディネーター型教育相談とチーム支援を軸に ー

学籍番号 179960 安田 加弥

主指導教員 家近 早苗教授

1. 問題と目的

実習校には、「多様化・複雑化する児童の問題に向き合う学級担任の負担が大きく、個別の支援と校内組織との結びつきが薄いために、支援が必要な児童に対する必要な支援が継続しない」という課題がある。そこで、本教育実践研究の目的を、「教師の児童理解を深め、支援力を高めるためのコーディネーターの役割を検討することとし、実習校の問題を改善する方法を、特別支援教育コーディネーターの立場から検討した。

研究Ⅰでは、校内支援体制づくりと個別の児童へのチーム支援に関する実践研究を行う。実践をもとに、チーム支援を支える校内支援体制を構築するための方法を生活支援教育コーディネーターの立場から検討し、チーム支援におけるコーディネーターの役割を明らかにする。研究Ⅱでは、コーディネーター型教育相談「コーディネートタイム」を実践し、コンサルテーションにおけるコーディネーターの役割を明らかにする。

2. 研究の方法

〈研究Ⅰ〉校内の支援体制づくりとチーム支援

【目的】児童の問題に応じた校内支援を実現するための方法を、コーディネーターの視点から検討する。

【方法】学校長や生活指導部長との相談や生活指導部会、および個別の支援チームのメンバーで行う会議に関する報告者による記録をもとに、内容を記述し分析する。

【結果・考察】校内支援体制を構築するには、①校内資源のアセスメント、②学校長やミドルリーダーへの働きかけ、③三段階の心理教育的援助サービスの充実の3点のコーディネーターの役割が必要である。報告者は、一次的援助サービスの充実として、支援ニーズの高い児童に対する複数の教師による見守り体制を強化し、特別支援学級担任による校内支援の好事例を各学級から収集して研修会で教職員に紹介した。次に、二次的援助サービスの充実のために、「生活指導部」と「特別支援委員会」という2つの既存組織の機能を明確にし、教育相談を組織に位置づけた。さらに、三次的援助サービスの充実を目指し、個別のチーム支援と組織との結び付きを強め、個別のチーム支援を促進した。個別のチーム支援におけるコーディネーターの役割はコーディネーションとコンサルテーションである。チーム支援においては、①支援者の立場に応じた役割を明確にすること、②チーム支援と校内組織を結びつけるといったコーディネーションが求められる。また、チーム会議においては、①児童の自助資源や援助資源について

のアセスメントを進めたり、②支援学級担任による支援を促進したりするコンサルテーションが必要である。

〈研究Ⅱ－1〉「コーディネータータイム」の実践

【目的】報告者と学級担任とで行う「コーディネータータイム」における、コーディネーターの役割を明らかにする。

【方法】報告者のコーディネータータイムについてのノート記録，コーディネータータイムの連絡や日程調整に使用した校務メール履歴，コーディネータータイムで使用したアセスメントシートをもとに分析する。

【結果・考察】学級担任と短時間でやるコーディネーター型教育相談「コーディネータータイム」を開始し、「コーディネータータイム」におけるコーディネーターの役割を明らかにすることを目的に実践した。報告者は、「コーディネータータイム」の実践の中から，4事例をもとに分析し，「コーディネータータイム」におけるコーディネーターの役割として，①教師の考えや願いの理解，②教師の支援行動の肯定・促進，③問題状況の焦点化，④教師の児童理解力と支援意欲の向上，の5つの概念を見出した。

〈研究Ⅱ－2〉「コーディネータータイム」が教師に及ぼす影響

【目的】「コーディネータータイム」と教師の意識との関連を明らかにする。

【方法】コーディネータータイム開始前の4月下旬に，実習校の教師16名に対する質問紙調査を実施する。さらに，コーディネータータイム開始から半年後（夏季休業中を除く）の11月下旬に再度質問紙調査を実施し，「コーディネータータイム」と教師の意識との関連を明らかにする。

【結果・考察】コーディネータータイムの導入後の教師への影響を調査した。効果測定の結果，コーディネータータイムで行われる相互コンサルテーションは，①教師の児童理解を深める，②教師の協働を広げる，③教師の実行力を高めるといった影響を教師に及ぼすことを見出した。

3. 総合考察

本研究の結果，「教師の児童理解を深め，支援力を高めるためのコーディネーターの役割」として，①校内支援を支える土台づくり，②個別のチーム支援の促進，③教師の支援力向上という3つの役割を見出した（図6-2）。

すなわち，「教師の児童理解を深め，支援力を高めるためのコーディネーターの役割」とは，「校内支援を支える土台を作り，児童を支援するチームを動かすコーディネーション」と，「教師の支援力につながるコンサルテーション」を行うことだと言える。コーディネーターがこの3つの役割を果たしながら，学校内外のコーディネーションと教師へのコンサルテーションを行うことで，学校の課題に応じた校内支援が展開されていくと考えられる。

